電子航法研究所の業務内容

国土交通省

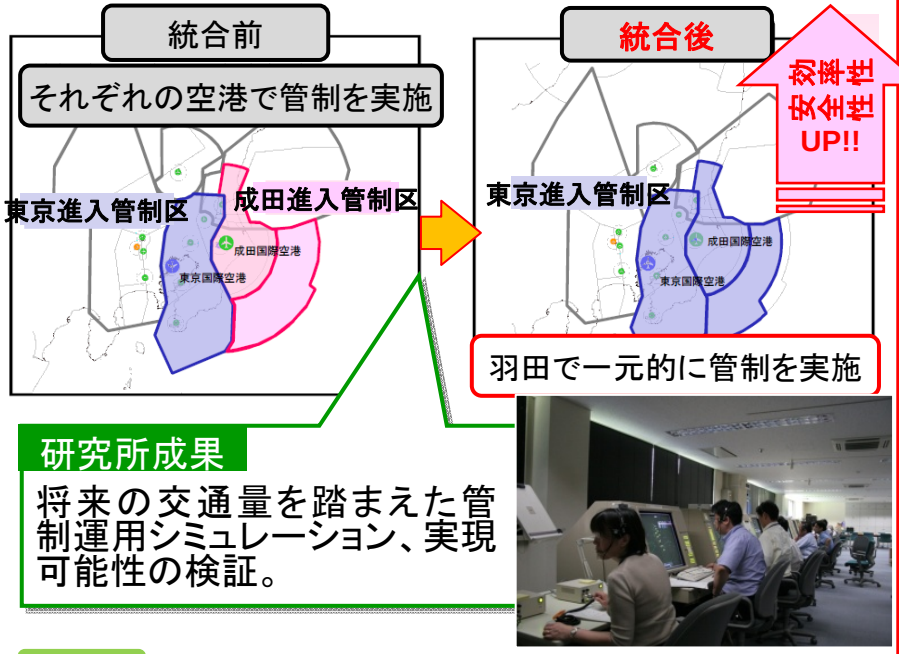
研究開発業務

■空域の有効利用及び航空路の容量拡大　　■混雑空港の容量拡大

■予防安全技術・新技術による安全性・効率性向上

羽田・成田の空域統合

「平成22年1月14日、運用開始」



研究所成果

将来の交通量を踏まえた管制運用シミュレーション、実現可能性の検証。

効果

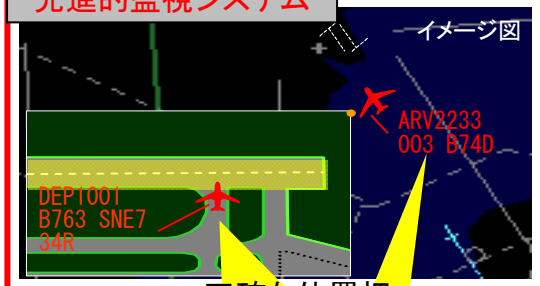
- 管制業務の効率化
- 首都圏空港の容量拡大

空港面監視技術の高度化

研究所成果

空港面を走行する航空機の先進的監視システムを構築

先進的監視システム



「本システムを、羽田、成田空港に導入」

・正確な位置把握・便名等の表示
・注意喚起表示

効果

- 安全性の向上
- 首都圏空港の容量拡大